

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 相模ゴム工業株式会社

コード番号 5194 URL <http://www.sagami-gomu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大跡 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営計画室 室長

(氏名) 吉田 邦夫

TEL 046-221-2311

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	2,337	△5.3	279	149.3	318	265.0	229	651.1
21年3月期第2四半期	2,469	—	112	—	87	—	30	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	21.12	—
21年3月期第2四半期	2.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	6,831	2,526	34.6	217.53
21年3月期	6,579	2,350	33.5	202.69

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,367百万円 21年3月期 2,206百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	10.00	10.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	△2.9	460	149.9	430	—	300	—	27.56

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	10,937,449株	21年3月期	10,937,449株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	54,973株	21年3月期	52,170株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	10,883,522株	21年3月期第2四半期	10,889,479株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成しているものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界経済の急速な悪化に対応した在庫調整の進展が見られる一方、急激な円高の進行が輸出に悪影響を与える懸念があります。また、設備投資は依然として回復せず、失業率も高く、雇用環境悪化から個人消費も低迷しており、経済活動の水準自体は低迷したまま厳しい状況にあります。

このような環境のもと、当グループは、経営資源を集中し、収益の拡大を図るとともに、各事業部においてコスト削減に努めてまいりました。

各事業部の動向におきましては、ヘルスケア事業は、コンドームの国内での価格競争が激化するとともに、輸出における円高等の影響もありましたが、ポリウレタン製コンドームの販売促進に傾注しました。プラスチック製品事業は、原料価格の上昇やプラスチック包装フィルムの販売価格の下落等、市場は低迷しましたが、生産の効率化やコスト低減により収益の増大を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績においては、売上高は23億3千7百万円（前年同四半期比5.3%減）、営業利益は2億7千9百万円（前年同四半期比149.3%増）、経常利益は3億1千8百万円（前年同四半期比265.0%増）、四半期純利益は2億2千9百万円（前年同四半期比651.1%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億5千2百万円増加し、68億3千1百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3億3千万円増加し、商品及び製品が4千1百万円、仕掛品が3千7百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7千6百万円増加し、43億5百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3千3百万円、未払法人税等が7千3百万円増加し、長・短期借入金が増加し、3千万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億7千6百万円増加し、25億2千6百万円となりました。これは主に、四半期純利益2億2千9百万円と為替換算調整勘定が3千1百万円増加し、配当金1億8百万円の支払によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間では、売上高は前回予想並みの水準で推移しておりますが、原価低減や経費圧縮により、収益は堅調に推移しております。また、昨今の円高の影響により、輸出への影響等不安定要因はありますが、当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、通期の業績予想については、「業績予想の修正に関するお知らせ」にて平成21年11月9日に発表しておりますので参照して下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・簡便的な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 原価差額の配賦方法

標準原価を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に前連結会計年度末の配賦割合をもとに配賦しております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④ 経過勘定項目の算定方法

前連結会計年度の実績をもとに合理的な算定方法により計上しております。

⑤ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

・四半期特有の会計処理

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

在外子会社の収益及び費用の換算基準の変更

在外子会社の収益及び費用については、従来、決算日の為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。これは、一時的な為替変動による影響を平準化することにより、適正な期間損益を連結財務諸表に反映させるためであります。この結果、従来と同一の方法を採用した場合と比べ、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,962千円減少し、営業利益は16,688千円増加し、経常利益は4,553千円、税金等調整前四半期純利益は4,525千円それぞれ減少しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	837,614	507,430
受取手形及び売掛金	1,616,067	1,581,750
商品及び製品	379,385	421,006
仕掛品	410,787	448,018
原材料及び貯蔵品	337,172	306,166
繰延税金資産	68,826	67,671
その他	75,005	98,498
貸倒引当金	△76,456	△65,908
流動資産合計	3,648,402	3,364,633
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,776,212	1,756,902
減価償却累計額	△1,165,147	△1,144,699
建物及び構築物(純額)	611,065	612,203
機械装置及び運搬具	4,178,751	4,081,458
減価償却累計額	△3,099,619	△2,976,511
機械装置及び運搬具(純額)	1,079,131	1,104,947
土地	947,529	944,233
その他	238,684	235,436
減価償却累計額	△213,383	△208,078
その他(純額)	25,301	27,358
有形固定資産合計	2,663,027	2,688,742
無形固定資産		
のれん	62,230	74,623
その他	5,465	4,752
無形固定資産合計	67,696	79,375
投資その他の資産		
投資有価証券	403,864	388,807
繰延税金資産	—	7,868
その他	51,836	52,933
貸倒引当金	△2,990	△2,911
投資その他の資産合計	452,711	446,698
固定資産合計	3,183,434	3,214,816
資産合計	6,831,837	6,579,450

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	465,392	431,936
短期借入金	2,388,840	2,542,464
未払法人税等	80,086	6,514
賞与引当金	82,560	67,603
その他	216,302	245,891
流動負債合計	3,233,181	3,294,410
固定負債		
長期借入金	779,200	655,600
退職給付引当金	113,372	106,796
役員退職慰労引当金	175,181	169,576
長期預り保証金	3,750	2,500
繰延税金負債	388	—
固定負債合計	1,071,891	934,472
負債合計	4,305,073	4,228,882
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,436	547,436
資本剰余金	681,385	681,385
利益剰余金	1,832,206	1,711,221
自己株式	△17,107	△16,462
株主資本合計	3,043,920	2,923,581
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90,506	81,065
為替換算調整勘定	△767,214	△798,362
評価・換算差額等合計	△676,708	△717,296
少数株主持分	159,551	144,282
純資産合計	2,526,763	2,350,567
負債純資産合計	6,831,837	6,579,450

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,469,782	2,337,713
売上原価	1,741,859	1,426,236
売上総利益	727,923	911,477
販売費及び一般管理費	615,863	632,165
営業利益	112,059	279,311
営業外収益		
受取利息	235	68
受取配当金	6,577	4,673
為替差益	—	48,460
その他	20,953	12,360
営業外収益合計	27,766	65,563
営業外費用		
支払利息	29,724	25,881
為替差損	22,595	—
その他	214	352
営業外費用合計	52,535	26,234
経常利益	87,291	318,641
特別利益		
固定資産売却益	7	—
貸倒引当金戻入額	2,918	—
特別利益合計	2,925	—
特別損失		
固定資産除売却損	2,246	1,305
特別損失合計	2,246	1,305
税金等調整前四半期純利益	87,970	317,335
法人税等	59,443	77,726
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,071	9,770
四半期純利益	30,599	229,837

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。